

モニターレポート(4月報告)

【報告内容①】

4月5日(日)にNEXT21で行われた、パネル展「阿賀野川と銅山、ダム、そして高度経済成長の果てに」を見てきました。

今回のパネル展で、鹿瀬ダムの発電所や昭和電工を含む工業地帯の写真を見て、確かに水俣病などの暗いこともありましたが、この阿賀野川という場所は、20世紀の経済成長の一部を担っていた、まさに“中心”とも言う川なのだと思います。

〈事務所からのコメント〉

阿賀野川は、古くは日本海側と旧会津藩を結ぶ舟運の大動脈として盛んに利用され、近代から現代は国内屈指の水力発電地帯として重要な役割を担っています。また、その豊かな水量で新潟平野の大穀倉地帯を支えてきました。それら長い歴史の中で、沿川では様々な産業が発展しました。

その一方で、新潟水俣病(第二水俣病)が発生し、今もなお高度経済成長期の暗い影を引きずっています。阿賀野川の足跡と明暗は、今後も伝え続けられるべき大切な事実と思っています。

【報告内容②】

満願寺床固め公園や、高山地区ワンド上流部分にゴミの不法投棄が見られました。防止策として罰則金を上げたり、カメラを取り付けたりしてみてもは。また、ミニチュアの鳥居が投棄防止になったこともあります。

〈事務所からのコメント〉

河川のパトロールを実施するなど、不法投棄防止対策を行ってまいります。関係機関とも連携し、不法投棄に対する意識の高揚、マナーの向上に努めてまいります。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容③】

先日の安全利用点検に参加させてもらい、子供達の鮭の稚魚の放流を見学させてもらいました。河川愛護モニターになって良かったな、と思う1日でした。

水辺のプラザに寄った時に、広場に前回報告したものとは別のタイヤ等が捨てられていました。近くには「ゴミを捨てないでください」との看板が立っているのに、どういう気持ちで捨てるのでしょうか。

〈事務所からのコメント〉

先日は安全利用点検に参加いただき、ありがとうございました。モニター活動も含め、私たちの業務を広く一般の方々に知っていただくことも、大切な事と考えています。鮭の稚魚の放流は、活動の様子を多くの方に見ていただきたいとの思いからあわせて実施したと聞いています。

前回同様、不法投棄の報告がありました。引き続き関係機関とも協力し、不法投棄がなくなるよう、努めてまいります。

【報告内容④】

先日の安全利用点検に参加させて頂き、職員さんの皆さんからは、出張所周辺の河川の様子、洪水を防ぐ知恵、季節の移り変わりに対する川の変化など、様々な事を教えて頂きました。点検箇所は広範囲で思った以上に歩きましたが、さくらの開花も見られ、春らしい空気を感じながら散策させて頂きました。

その際、鮭の稚魚放流の場所で、河川へ降りる階段の危険な位置の印が砂や泥で隠れてしまうので、階段の横に棒をたてるなど、他にも危険箇所を見分けられる方法の提案をさせて頂きました。

〈事務所からのコメント〉

安全利用点検で皆様から頂いたご意見、ご指摘につきましては、施設管理者、河川管理者それぞれの分担の中で善処しているところです。

阿賀野川の堤防からは、桜からチューリップへと次々にきれいな花が見られます。これから日毎に暖かさが増して良い気候になり、河川利用者も増えてきます。

モニター様も初夏の阿賀野川に触れて頂き、気付いたことがあればご報告頂ければ幸いです。

※複数のモニター報告を要約してあります。